

## 高根沢町 校務 DX 計画

### 1. 校務 DX を推進する上での現状と課題

本県では、教育 DX を推進しているものの、学校間でのクラウド活用やデジタルツールの導入状況に格差があり、標準化が求められている。そのため、GIGA スクール構想に基づくクラウド活用の標準化を推進し、研究校や先進校の事例を横展開することが課題となっている。

また、文部科学省の「教育 DX 推進ロードマップ」では、教育データの利活用を促進し、教職員の業務効率化を図ることが求められている。

そこで、本町においても、統合型校務支援システムの更新に際し、次世代の校務 DX 実現を視野に、重複した入力作業の削減、ペーパーレス化、データ連携の促進などを検討していく必要がある。

さらに、教職員の働き方改革の観点から、押印・FAX の原則廃止を進めるとともに、業務効率化を目的とした校務のデジタル化を推進することが求められている。

### 2. 校務 DX を推進するための課題解決策

高根沢町では、国の「教育 DX 推進ロードマップ」や「GIGA スクール構想」に基づき、校務のデジタル化と業務の効率化を進めるとともに、教職員の働き方改革を推進する。そのため、以下の施策を実施する。

#### (1) 校務 DX の推進方針の明確化と働き方改革の推進

- ・「高根沢町教育振興基本計画」に基づき、校務のデジタル化を推進し、学校現場での業務負担軽減を図る。
- ・教職員の働き方改革の一環として、文書作成・管理・報告業務の効率化を進める。

#### (2) 校務のクラウド化とデジタル活用の促進

- ・校務用パソコンのクラウド化が完了し、データのオンライン管理が可能になったことを活かし、文書作成や情報共有のデジタル化を進める。
- ・統合型校務支援システム（スズキ校務支援システム）を活用し、校務のクラウド化を推進し、重複入力の削減、文書のペーパーレス化を実現する。
- ・押印・FAX の原則廃止を進め、教育委員会との連絡や行政手続きをオンライン化する。
- ・各学校の公文書の電子データの格納フォルダを全町統一した階層に整え、保存年限を過ぎた文書廃棄に伴い、同じデータファイルも破棄（削除）しやすいようにする。

#### (3) ICT の活用推進とデータ利活用の強化

- ・データ利活用の促進に向け、成績処理や出席管理などの校務データを一元管理し、業務の簡素化を図る。また、ダッシュボード機能を有する校務支援システムについても検討を進める。

#### **(4) ICT 活用の標準化と研修の充実**

- ・町内全校で ICT を活用した校務 DX を推進するため、教職員向けの研修を実施する。
- ・各学校間における情報共有の利便性向上と、効率的かつ安全なクラウド共有フォルダの運用を目的として校務用パソコンの「町共有フォルダ運用マニュアル」を作成する。

#### **(5) 事務負担の軽減と校務の効率化**

- ・サービス管理の事務負担軽減に向け、学校のネットワーク状況等を踏まえ、システム化やペーパーレス化等を検討していく。